

大切なのは、 もったいないという気持ちです。

シリーズ

家庭でできる温暖化防止③



ドライブや点検整備など、
ちょっとした気配りによる
無駄なガソリンの消費を抑えるための
方法について考えてみました。

取り組み1

計画的ドライブ

*無計画なドライブで目的地までの道に迷えば、時間と燃料が無駄になります。道に迷って10分余計に走ると、約350cc(約4・1km走行分)の燃料が無駄になります。1カ月で60分余計に走らなければ、経費(ガソリン1200円/ℓ)にして年間約3,000円の節約にもなります。
あなたは、行き当たりばったりでドライブしていませんか？

取り組み2

定期的点検整備

*タイヤの空気圧不足など、ちょっとした整備不良が原因でも排出ガスの量が多くなることがあります。点検・整備はきちんと行いましょう。空気圧が0・5kg/cm²減のタイヤで50km走行すると、約150cc(約1・8km走行分)の燃料が無駄になります。年10,000km走行する人で、経費(ガソリン1200円/ℓ)にして約3,600円の節約にもなります。

走行前の点検をお忘れなく！

ちょっとした心がけ!!

■エアコンの使用は控えめに

カーエアコンを使用していると、エンジンに大きな負荷がかかり燃料消費が増します。家庭と同様に温度調節を小まめにしましょう。

■違法駐車はしないように

違法駐車により渋滞を招くと、ほかの自動車の燃費が悪くなります。平均車速が時速40kmから20kmに低下すると、燃費が40%から50%悪化するといわれています。

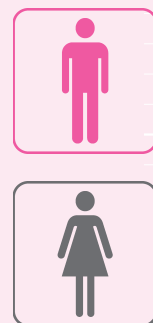
●このコーナーは、環境課が担当します。内線304

男女共同参画②

無意識の意識

シリーズ

『男と女』



トイレの表示を男性はピンク、女性は青にしたものを使い、日本人と外国人を対象に実験を行ったところ、外国人は間違えなかったのに、日本人はほとんどの人が入り口を間違えたそうです。また、ある町の保育園に通う女児が青色を好んでいたら、保育士から「変わり者」と言われ、保護者がとても悲しい思いをしたことがあります。

バブルのころとは違い、男性だけに働くことを任せてしまうのはとても酷なことだし、またすべての女性が家事や育児が得意とは限りません。にもかかわらず「男性は働いて一家を支える大黒柱、女性は家事や子育てをして家庭を守る」という考え方が、気付かないところで残っているようです。

私たち大人が、無意識のうちに、男性はこう、女性はこうだと固定した意味付けをしてしまっているからではないでしょうか。さらにこの意味付けは無意識のうちに、そして当たり前のように、次世代に受け継いでしまっているのかもしれないですね。

男性、女性という性で分けてしまうことも含めて、「これが普通」と思っていることを、少し違った角度から見てください。そうすれば色が変わっていても、トイレの入りを間違えることはなくなるかもしれません。